

4箇所に分散して業務を再開

10月3日未明、役場峰浜庁舎から火災が発生。木造2階建て約1100平方メートルの庁舎が全焼したほか、隣接する木造平家建ての能代署峰浜駐在所を全焼。さらに非住家6棟の壁などを焼き、約4時間半後の午前6時5分に鎮火し、庁舎の焼け跡から宿直業務をしていた森田福松さん(74)の遺体が発見されました。出火原因ははまだ特定されず、現在能代警察署で調べています。



猛烈な炎が

峰浜庁舎を飲み込む

午前1時36分、近所の住民が火事に気づき119番通報。火はあっという間に勢いを増し、八峰消防署などから消防車両10台が出動したほか、地元消防団が消火に当たり、民家への延焼を食い止めました。出火から約4時間半後の午前6時5分ようやく鎮火。出火当時は現場から約150メートル西側にある国道101号線まで火の粉が舞い、焼け跡には正面玄関のコンクリート製の門と、耐火金庫、数本の柱以外全て焼け落ちていたなど、今回の火災のすさまじさを物語っていました。



ほとんどの公文書

データなどが焼失

町では、午前2時に災害対策本部を設置、午前5時には峰栄館に八峰町全職員を招集し、緊急会議を開催。峰浜町民サービス課は塙川出張所、福祉課は八森庁舎、保健衛生課は八森保健センター、農業振興課・建設課・上下水道課・農業委員会は峰栄館へ移動するなど、町長から業務の復旧についての指示をしたほか、午前10時から議会全員協議会、午後1時からは自治会の会長会議を開き、火災による被害状況の報告や、復旧に向けての協力を依頼しました。

峰浜庁舎で業務をしていた職員は峰栄館などの4カ所に

移り業務再開の準備に追われましたが、窓口業務は通常通り、同日8時30分に業務をスタート。電話の問合せが数件あったほかは大きなトラブルはありませんでした。

この火事での被害状況は、庁舎内の耐火金庫内に保管していた沢目地区の約1500部の戸籍が一部焼失したのをはじめ、各課の公文書、OA機器や、機器に保存していたデータ類が全て焼失しました。町では焼失した書類やデータ類について、県や業務委託業者、金融機関など各方面からデータの提供をもらうなどに対応し復旧作業をおこなっています。



火災対策の見直しが急務

この火災では書類やデータの焼失、防災無線不通などの事態を招き、役場の防災対策の見直しが突きつけられました。八森庁舎は峰浜庁舎より7年前の昭和28年建設。木造2階建てで老朽化が進んでいます。耐火倉庫や耐火金庫で重要書類を保存していますが、電算のサーバなどは防火対策されておらず、今回のような事態を想定し、バックアップデータを別施設の耐火金庫に保管するなどの危機管理の見直しを早急に行うことを検討しています。



お詫びとお願い

八峰町長 加藤 和 夫

10月3日未明、八峰町峰浜庁舎が全焼し、他隣家に類焼させてしまった関係の皆様にご心からお詫び申し上げます。住民の安心・安全の拠点としての庁舎、約半世紀に亘って旧峰浜村の歴史を刻んできた大切な庁舎を焼失してしまい、町民の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。

また、この火災により宿直勤務中であつた森田福松様が亡くなられました。親族の皆様へお悔やみを申し上げますとともに、衷心より故人のご冥福をお祈り申し上げます。

町では、直ちに当日早朝、全職員集会や課長会議を開催し、事後の復旧や業務の正常化を図り、町民サービスを維持するため全力を挙げていくところであり、併せて、議会全員協議会と自治会長会議も緊急に開催し、夫々、ご支援をお願いし、ご協力を頂いております。しかし、真夜中の火災で殆どの書類等を持ち出すことが出来なかったため、復元まで時間のかかる業務も出ておりますし、各課が分散して業務を行わなければならない事態にもあります。町民の皆様には、できるだけご迷惑掛けまいよう努力してまいります。現状をご理解のうえ、ご協力を切にお願い申し上げます。

新町になって、大きな試練に直面したわけですが、全町民のお力をお借りし、この難局を乗り切って参る覚悟でございますので、どうかよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、懸命に消火活動して頂きました消防署や消防団はじめ関係の皆様にご感謝申し上げますと共に、お見舞いに駆けつけ、激励して頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。